

【様式】

地域中核大学イノベーション創出環境強化事業
令和6年度採択校フォローアップ審査調書

法人名：国立大学法人 大学名：岡山大学

(1) 事業初年度の取組と効果（～令和6年度末）

① 地域の中核大学として、自身の強みや特色が、本事業初年度でどのように進展したと自己分析しているか。羅針盤を用いて、採択前後の強みや特色がどのように変わったかを示すこと。また、特に進展が見られた観点については、具体的なアウトカム指標を用いて、過去6年分の定量値とともにその効果を示すこと。

令和6年度の交付金に対する支出実績

※自己負担分を含む。

取組	実施内容	費目	支出額(千円)
【取組1】 岡山大学と岡山県立大学の「強み」を生かしたHubの設置	おかやまテックガレージ整備	設備費・賃料等	25,398
	おかやまテックガレージプロジェクト支援	外注費・謝金等	5,583
	「おかやまテックガレージ」HP・ロゴ制作	外注費・謝金等	526
	リビングラボ「樹人Hub」整備（岡山県立大）	設備費・賃料等	21,991
	コーディネーター配置（岡山県立大）	人件費	3,924
【取組2】 デジタル×デザイン の融合によるイノベ ーティブな取 組の加速	ビジネスアナリティクス人材育成公開講座実施	外注費・謝金等	3,975
	DXビジョン形成ワークショップ実施	外注費・謝金等	330
	オープンイノベーション Match Up 開催	外注費・謝金等	869
	森林産業構想策定セッション開催	外注費・謝金等	990
	岡山大学 R&D showcase 広報	外注費・謝金等	660
	VR・ARの活用研究設備等デジタル×デザインの融合基盤構築（岡山県立大）	設備費	15,399
【取組3】 大学間連携による総合知を活用したシンクタンク機能の強化	地域未来デザイナー配置	外注費・謝金等	4,950
	久米南町プロジェクトマネージャー配置	外注費・謝金等	990
	久米南町プロジェクト実証実験（四足歩行ロボット・アクアポニクス活用等）	設備費 外注費・謝金等	3,826 1,680
	インパクトスタートアップに関する調査	外注費・謝金等	990
	シンポジウム開催（岡山県立大）	外注費・謝金等	3,735
【取組4】 地域ぐるみでアントレプレナーシップ人材や高度人材を育成	高校生向け越境学習プログラム向け教材・ロボット制作キット開発	外注費・謝金等	1,870
	学生アントレプレナーコミュニティ「オレンジ」 Slack によるオンラインプラットフォーム構築	外注費・謝金等	950
	「おかやま夢育イニシアチブ」事業実施協力	外注費・謝金等	325
事業全体	イノベーションエコシステムの形成について意見交換（広島大・金沢大）	旅費	209
	事業PR動画作成	外注費・謝金等	880



【①多様性と卓越性】文部科学省「地域中核大学・特色ある研究大学強化促進（J-PEAKS）事業」等を通じて、強みの研究力の更なる先鋭化（卓越性）と裾野の拡大（多様性）を進めている。J-PEAKS 事業初年度（R5年度）には、研究力強化を強力に推進する「高等先鋭研究院システム」を構築した。J-PEAKS による大学全体の研究力強化の成果は未算出であるが、従来からモニタリングしている RECTOR プログラム拠点（強みの研究拠点群を育成する学内プログラム）においては、直近5カ年のTOP10%論文数約8.9%増と着実な成果を上げている。今後、J-PEAKS による研究力強化施策の成果が結実してゆくことを踏まえ、現時点ではR5年度末と同じ**4.0点**とした。

【②社会実装・イノベーション】共同・受託研究受入額をR5年度末の2,349,372千円から3,150,952千円に増加させた。産学官連携組織「おかやまデジタルイノベーション創出プラットフォーム（OI-Start）」の拡充、岡山市と連携しスタートアップ・エコシステム拠点都市形成を目指す「岡山イノベーションコンソーシアム（仮称）」の設立等に取り組んだ。また、本事業で整備した「おかやまテックガレージ」等を活用した地域課題解決プロジェクトに関し、企業・公益団体との連携が検討開始されるなど着実な広がりを見せている。上記から、本事業を中心に社会実装・イノベーション創出に向けた産学官連携基盤の強化が図れたと判断し、R5年度末の3.0点から**3.5点**とした。

【③地域貢献】県内の企業や地方公共団体を契約相手方とした当該年度の共同・受託研究受入件数をR5年度末の114件から118件に増加させた。また、前述のOI-Start・コンソーシアムの拡充に加え、新たにJR西日本岡山支社と地域活性化に向けた連携協定を締結するなど、地域貢献のための基盤を強化した。さらに本事業で複数実施している大学間連携による地域課題解決プロジェクトについて、1件がトヨタ財団の助成金（1,000万円）を獲得、2件が両備グループ社会課題解決プロジェクトの一次審査を通過、1件が自治体と連携して総務省ふるさとミライカレッジ事業に申請するなど、大きく前進した。これらにより、本事業を中心に地域貢献に向けた産学官連携の基盤の飛躍的な強化及び事業推進が図れたと判断し、R5年度末の3.0点から**4.0点**とした。

【研究環境（研究支援体制）】J-PEAKS 事業などを通じて、技術職員・事務職員の高度化や機器共用の強化などを行い、研究支援体制の強化を図っている。具体的には、研究者の研究時間確保を目的とした教員機能分化（研究・教育・マネジメント業務間のエフォート管理）、技術・事務職員の高度化による脱・教員中心主義と教職協働の推進、他機関と連携し進める機器の相互共有と人材育成、ヘリウムの地域供給拠点化を目指すヘリウムネットワーク構想など、挑戦的な取組に果敢にチャレンジしている。今後、これらが結実していくことを踏まえ、R5年度末と同じ**4.0点**とした。

【マネジメント（経営力）】J-PEAKS 事業や文部科学省「国立大学経営改革促進事業」などを通じて研究成果のマネタイズを進めることができた。その結果、外部資金（共同研究・受託研究・寄附金）獲得額をR5年度末の4,558,530千円から5,493,116千円へと顕著に増加（20.5%増）させることに成功した。この実績を踏まえ、R5年度末の3.5点から**4.0点**とする。今後もJ-PEAKS 等を活用して研究成果に基づくイノベーション創出とマネタイズを進めていく。

<他の事業との連携>

本事業では、その活動をJ-PEAKS 事業の取組の一つである「イノベーション創出による Well-being 社会の実現」と密接に連携させ、前述の地域課題解決プロジェクトに関してJ-PEAKS 事業

で整備した枠組みや環境を活用して具体的な活動を展開し、その結果をフィードバックし、相乗効果を発揮させることで、主として②社会実装・イノベーション及び③地域貢献の進展を図った。

・本事業採択前後（R5年度末時点・R6年度末時点）

共同研究・受託研究の増加に係る実績等（内数は岡山県内企業・自治体との案件数）

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度末時点
総額（千円）	2,404,337	2,361,824	2,640,783	2,720,647	2,349,372	3,150,952
件数（件）	523（97）	514(105)	564(109)	582(109)	584(114)	633（118）

② 上記に加えて、人材育成や教育など、既存の羅針盤の観点以外で進展が見られたものについても記述すること。

岡山県立大の「吉備の杜」プロジェクトを基盤とした、岡山大・ノートルダム清心女子大・岡山理科大の大学間連携によるイノベーション創出人材の育成を目的としたリカレント教育プラットフォームの構築を進め、活用する施設の整備や大学を横断した教員による研究会の設立などを実施した。さらに、本プラットフォームに関して、文部科学省「令和6年度補正予算事業 リカレント教育エコシステム構築支援事業」に申請を行い、さらなる推進を図った。

（2）2年目交付による取り組み計画と見込まれる効果（令和7年度～）

① 2年目の交付により、どのような取組を実施し、それにより地域の中核大学としての自身の強みや特色が、どのように進展できると見込んでいるか。羅針盤を用いて、強みや特色がどのように変わるかを示すこと。また、特に進展を見込んでいる観点については、具体的なアウトカム指標を用いてその期待される効果をできるだけ具体的に示すこと。

【取組1】テックガレージ・樹人 Hub の相互活用による学生起点のイノベーション促進

資金計画：設備費・賃料等 30,000 千円（内他大学への委託費 10,000 千円）

取組と効果：「おかやまテックガレージプロジェクト」一次募集採択チームに（独）情報処理推進機構の未踏事業等へのチャレンジを促すとともに、二次募集を実施する。同プロジェクトによりソーシャルベンチャーの創出を促し、本学の【観点②社会実装・イノベーション】の向上につなげる。また、岡山県立大が設置するリビングラボ「樹人 Hub」において、自治体や企業等と連携し、試作したプロダクトの評価や実践的な解決策を模索することで、地域に密着した問題解決型の人材育成を進め、大学の社会貢献活動の幅を広げ、本学の【観点③地域貢献】を向上させる。

【取組2】デジタル×デザインの融合による地域ぐるみでのリカレント教育システムの構築

資金計画：活動経費等 35,000 千円（内他大学への委託費 25,000 千円）

取組と効果：岡山県立大に、学外履修制度をブラッシュアップするリカレント教育対応部署として「イノベーション創出・リカレント教育推進室」を新設する。AI×XRの活用研究など、デジタル技術とデザインの融合による実践的教育プログラムを提供し、学生に多様な視点からの問題解決能力と AI 等を活用した実践的なスキルを習得させる。課題解決の手法の拡大で【観点①多様性と卓越性】を向上させ、地域企業・自治体等との連携による実践的なプロジェクトの推進により、地域課題の解決に貢献することで、【観点②社会実装・イノベーション】・【観点③地域貢献】に関連して大学と地域産業界との関係を強化する。これにより、産学連携が進み、大学の研究資金の多様化が図られ【観点⑤マネジメント（経営力）】を向上させる。

【取組3】大学間連携による総合知を活用したシンクタンク&アクションタンク機能の強化

資金計画：人件費等 30,000 千円（内他大学への委託費 5,000 千円）

取組と効果：「おかやま地域未来創造イノベーション拠点（OLIVE）」の県内参画大学とともに総合知による地方創生プロジェクトチームを組成し、県内の複数自治体へシンクタンク&アクションタンク機能を提供することで、地域課題の解決【観点②社会実装・イノベーション】とともに地域社会に根ざした人材育成を促進し、大学の社会貢献活動【観点③地域貢献】を活発化させる。

【取組4】DXハイスクール選定校との連携によるアントレプレナーシップ人材や高度人材の育成

資金計画：活動経費・外注費等 5,000 千円（内他大学への委託費 5,000 千円）

取組と効果：県内 DX ハイスクール選定校に学生による様々な支援メニューを構築・提供することで高度人材の育成と地域内循環のエコシステムを構築し、地域社会の知的基盤を強化する。これにより、大学は地域の知の拠点としての役割を果たし、アントレプレナーシップの醸成、地域ぐ

るみの人材育成の推進により、**地域社会の発展【観点③地域貢献】**に貢献する。

<他の事業との連携>

取組3に関連して、中山間地域での産学官連携プロジェクトについて **J-PEAKS 事業において設置している「共生型連合体」**の枠組みを活用し、**地理的・社会的特性に応じた柔軟な規制緩和の実現に向けた取り組みを推進**する。

<本事業支援終了後における取組計画>

令和7年度中に岡山大学を核とした一般社団法人を設立することとし、地域内外の企業や自治体から会費や寄附金等を調達することで、**活動の自走化を目指す**。令和8年度以降に**大学間連携法人化を目指し、地域ぐるみでのイノベーションエコシステムを構築**する。

・本事業終了前後（R5年度末時点・R6年度末時点・R7年度末時点）



共同研究・受託研究の増加に係る実績等（内数は岡山県内企業・自治体との案件数）

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
総額 (千円)	2,404,337	2,361,824	2,640,783	2,720,647	2,349,372	3,150,952	3,546,214
件数 (件)	523 (97)	514 (105)	564 (109)	582 (109)	584 (114)	633 (118)	710 (150)

② 上記に加えて、人材育成や教育など、既存の羅針盤の観点以外で進展が見込まれるものについても記述すること。

令和6年度に構築した大学間連携による**リカレント教育プラットフォームをさらに発展させ、経済団体や大学コンソーシアム岡山との連携を強化**する。これにより、地域のニーズに即した人材育成プログラムを展開し、県内全域への波及を図る。また、地域と連携し映画を製作する「**岡山フィルムプロジェクト**」に**大学間連携で協力**することで、地域活性化への寄与を図る。